

12/1 未済

# 困窮外国人の支援要求

ベトナム人元技能実習生の困窮について訴えるティック・タム・チーさん（左）＝30日、参院議員会館



## コロナアクションが政府交渉

生活支援や労働問題などに取り組む39団体でつくる「新型コロナ災害緊急アクション」は30日、コロナ禍で困窮を極める日本で暮らす外国人や、生活困窮者への住まいの公的支援を求め、参院議員会館で政府交渉をしました。

反貧困ネットワークの瀬戸大作事務局長は、コロナの影響が半年以上続くなかで外国人への支援は動いておらず、支援団体への寄付金などで生活をつな

いでいるとして「最低限の生活ぐらい保障してほしい」と批判。生活保護や医療、生活支援制度を誰もが受けられるよう求めました。

ベトナム人の元技能実習生の支援をする「在日ベトナム仏教信者会」のティック・タム・チー会長は、コロナの影響で元技能実習生は「働けない、家もない、食べる物もない。国にも帰れない」状況になり、精神を病む人も増えていると発言。

「クルドを知る会」の松澤秀延さんは、外国人を対象とした11月の相談会には300人以上が訪れたとして「家賃が払えず家を追い出される、病院へも行けない人」が増えていると訴えました。

生活困窮者への住まいの支援策としては、▽「住居確保給付金」の延長▽年末年始にむけ緊急宿泊支援の実施▽生活保護の居宅保護の原則の徹底▽生活保護の要件緩和などを求めました。